

# 咲くつと

sakutto

No.34

令和5年

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



## ながいずみ 子育てフェスティバル



### 【特集】

子育てしながら、自分磨き ..... P2~3

自分の「好き」を大切に自分らしく生きる ..... P4~5

多様な性を考える～自分らしく生きるために～ ... P6~7

「自分らしく生きる」「相手の自分らしさを認める」

そんな生き方の参考になる本の紹介 ..... P8





写真提供：(株)ビズホープ

# 孫育てしながら、自分磨き

～令和の粋なおじいちゃんを目指して・・・NGF講座～

長泉町では新たな取り組みとして、NGF (Nagaisyumi Grand Father) 講座を開催しました。当講座では子育てはパパ・ママだけでなく、祖父母も担い手として活躍してもらうことで、子育て世代が子育てしやすい環境が整うと考えて開設されました。また同時に、祖父母が孫育てを通じて、より一層自分らしく、イキイキと生活することを目指しています。

町内在住、または町内在勤で孫がいるおじいちゃん9人からの応募があり、8月から2月まで全5回の講座が開催されました。

第1回目は、子育て情報の発信や、母親のコミュニケーションの活動をしている「ママとね」代表の中島さんを講師に迎え、共働き世帯が6割強を占める現状や、今と昔の子育ての常識の変化などを紹介しながら、パパ・ママの応援団として、祖父母だからこそできる孫育ての実践ポイントを学びました。

第2回目は、ミズノスポーツサービス(株)の佐藤さんを講師に迎え、これからの人生を楽しむために知っておきたい身体の仕組みや、手軽にできるストレッチを学びました。

第3回目は、大手料理投稿サ

イトのクックパッド(株)の小竹さんを講師に迎え、あしたか牛や、四ツ溝柿などの特産品を使い、孫や家族が喜ぶ、おしゃれで華やかな料理にチャレンジしました。あまり料理の経験がない参加者も仲間と共に手際よく作りました。

第4回目は、カラーコーディネーターの小島さんを講師に迎え、自分に似合うパーソナルカラーを知ること、普段着を着こなすコツを習得しました。

そして、最終回では、これまでの学びを経て出会った新しい自分を、家族や仲間へ発表しました。メイクアップアーティストの橋内さんにメイクアップしてもらい、沼津市のフォトグラフィアール角田さんに、かっこいいおじいちゃんの姿をポートレート撮影していただきました。また、音楽に合わせてレッドカーペットの上を歩いたり、ポーズングしたりしました。

今回、NGF講座に参加したきっかけは、多くの方が自身で応募、もしくは家族からのすすめでしたが、いずれの回も参加者の満足度は高く、講座を重ねるごとに、参加者の意識や行動に少しずつ前向きな変化が表れてきたようです。



## 参加者の声



孫育てのポイントを熱心に聞く参加者

- ・孫を褒めるようになった。
- ・孫育て10か条が大変参考になった。家族に共有したら、その通りにやっていないと指摘されるようになった(笑)。
- ・孫目線を意識するようになった。
- ・身体やファッションに気を配るようになった。
- ・料理にチャレンジしてみた。
- ・週1回は家族サービスをしたい。
- ・進んで社会活動に参加したい。

## 孫育て10か条

- 1 育児の主役はパパ・ママ、祖父母はサポーター
- 2 パパ・ママの話を聞く
- 3 今と昔の子育ての違いを知る
- 4 とがめるより、補う
- 5 他の子、親と比べない
- 6 手、口、お金は出しすぎず、心と体力にゆとりを! 断る勇気も持とう
- 7 「ありがとう」「ごめんなさい」を言う  
親しき仲にも礼儀あり
- 8 孫のほめ役、夢の最強応援団になる
- 9 自分のライフスタイルも大切に
- 10 老いていく姿を見せる

(引用：NPO法人孫育て・ニッポン)



ストレッチをして汗を流す参加者



自分に似合う色合いを確認する参加者

## 取材を終えて



私は1歳の子どもがおり育休中です。町内を散歩していると「かわいい子ねーいくつ?」「お母さん、がんばってね!」と通りすがりの方がよく温かい声を掛けてくれます。子育てで不安やストレスがある中、周囲の方からのちょっとした声掛けや、気遣いが大変うれしく感じられます。子育て支援のために町の制度や施設が充実していることに加え、住民の皆さんが子どもたちを大切にしていること、これこそ長泉町の魅力だと感じています。

NGF講座などの活動を通じて、さらに幅広い世代の方が、自分の孫だけでなく、近所、地域全体で子育てを応援しながら、自分らしさを磨き、イキイキ生活できる社会になることを期待しています。







# 自分の「好き」を大切に 自分らしく生きる

～サークルでの出会いから広がる友達・活動の輪～



ピアノ

かの 狩野 ふみさん



フルート

さかの 坂野 真由美さん

音楽をやってこられたお二人は、出産や引っ越しを機に音楽活動を一時中断されました。

長泉町の地域サークルで出会い、子育てをしながらご自身の大切に行っている音楽活動を再開されました。

自分の「好き」を大切に友達の輪を広げて活躍するお二人を取材しました。

## お二人はどこで出会いましたか？

**狩野** 私が先に長泉ママの合奏サークル【mamacannon】（以下ママカノン）で活動していました。坂野さんが引っ越してきて、「プレイグループなめり」で出会ってお誘いし、他のメンバーと一緒に練習してきました。4月にながいずみセミナーの講座で初めて2人でコンサートを行いました。

## どのような練習をしていますか？

**坂野** まとまった時間が取れないので、仕事（レッスン）前や空き時間、子どものお迎えまでのギリギリの時間を使って練習しています。

**狩野** 坂野さんのように隙間時間に30分練習したり、ママカノンでの練習で1〜2時間練習したりしています。



## お子さんの音楽への興味は？

**坂野** フルードに興味はあるようですが、子どもがやりたいと言ってくるまでは、こちらからやらせなくていいかなと思っていました。

**狩野** 子どもと一緒にピアノを弾きたいと思い、子どもたちが小さかった頃は、音楽教室に通わせていましたが、現在は3人ともサッカーをやっています。



ながいずみセミナーでのコンサートの様子

## 家事は分担していますか？

**坂野** 8〜9割は私ですが、夫は時間がある時は子どもの面倒を見てくれ、その間に私が家事をするという意味では、半々かと思っと思っています。

**狩野** 子どもが小さい頃は、ほとんど私がやっていたんですが、

私も仕事を始め、家事もできる範囲で分担できるようになったので、今は8割程度だと思っています。

## 育児の分担は？

**坂野** こども園の送り迎えやその他はほぼ私ですが、夫が休みの日は上の子の宿題を見たり、私が疲れてしまった時はがんばって早く帰ってきて、下の子をお風呂に入れてくれたりします。寝かしつけは私です。パパだと楽しくなって遊んでしまいがちになります。

**狩野** 子どもが小さかった頃はほとんど私です。子どもたちは遊ぶのはパパが良いということも助かっています。ビシッと子どもたちを叱ってくれる助っ人という意味ですごく助かっています。私では手に負えないところが多々ありますので。

## パートナーに求めることは？

**坂野** できれば毎日早く帰ってきて欲しいです。いつも心にゆとりを持っていてほしいです。

**狩野** パパの話は子どもたちもきちんと聞いてくれるので、いつも助けられています。私もつい小言ばかりになってしまっているので、できたことや良い所を褒めてあげてほしいです。



### サークル活動で得るものは？

**坂野** 引越して来た時、仕事をほとんど辞めて、友達もゼロ、時間はたっぷりある、けれどフルートを吹けない環境だったので、すごく悶々としていました。その時、ママカノンの演奏を聴いて、子ども連れでもフルートが吹けるんだと嬉しくなりました。

**狩野** 子育ての時間とは別の、自分の時間が作れたのが一番嬉しかったです。私は2人目を妊娠中に長泉に引越して来て、誰も知り合いがない状態でしたが、サークルで少しずつ知り合いが増え、縁が広がって新しい出会いがありました。



ママカノンの練習風景

### 他のサークル活動は？

**狩野** ママ友から教えてもらった、図書館でやっている「火のうおはなし会」に参加しています。参加した未就園児の親子に読み聞かせをしたり、他の方の読み聞かせを聞いたりして、絵本選びや読み聞かせの参考にしています。長泉はママたちが主体となってやっている活動のサークルがとて多いいと思います。子育てしやすい町、というのはほんとにその通りだと思います。



### 引越して長泉町の印象は？

**坂野** 居心地がいいなと思います。歩いてすぐ公園に行けたり、「ウエルピアながいずみ」や「本宿にここ公園」など、公園に駐車場があるのがすごく便利だと思います。また、「パルながいずみ」に初めて行った時は、こんなところが無料で使えるんだと感激しました。

### 子育て支援サービス活用は？

**坂野** パルながいずみに一時保育（3時間まで）があり、入園前はよく利用していました。レッスンは1時間〜1時間半程なので、パッと預けてレッスンを迎えるに行っていました。

パルながいずみは、よく遊びに行く場所なので、子どもも先生を知っていて嫌がりませんでした。最近では、ファミリー・サポート・センターの会員に登録しました。



### 仕事と子育て両立の工夫は？

**坂野** やりたいことがたくさんあるのに、思うように動けず焦ることもあります。どれだけ自分の機嫌を取れるかというのが大事だと思っています。たまには子どもが早く寝なくてもよし！と思って、笑って過ごすことを、大切にしています。

**狩野** 子どもが生まれる前は音楽教室の講師でしたが、仕事に追われていて、楽しさを忘れていたのかなと思います。今は純粋に楽しめているので、趣味でもある仕事の時間を増やしていきたいなと思っています。

やりたいことや、仕事を優先させると、だんだん家の中が荒れてきますが、折り合いをつけながら、みんな元気で、笑顔でいられることが一番だと思っています。



パルながいずみ



子育て支援サークル

## 編集後記

お二人とも家族と協力し合い、プラス思考で趣味や仕事に取り組んでいらっしやるのがよくわかりました。自分の大切にしてきたことや好きなことを続けながら、活動の幅を広げているお二人の姿が印象的でした。

## プロフィール

**狩野 ふうみさん**（ピアノ）  
三重県出身

名古屋芸術大学

音楽学部音楽教育学科卒業

現在は長泉ママの合奏サークル「ママカノン」を運営するほか、音楽サークル「くいしんぼ」と、「ふくろのよみもの屋」、

「火のうおはなし会」（長泉町民図書館）などに所属

**坂野 真由美さん**（フルート）  
下田市出身

武蔵野音楽大学

器楽学科フルート専攻卒業

第10回静岡県フルートコンクール  
重奏部門優秀賞受賞

フルートオーケストラ

SHIZUOKAメンバー

フリーで演奏活動を行うほか、各地でフルート指導にあたっている

長泉わくわく塾  
フルートアンサンブル講座講師

# 多様な性を考える

～自分らしく生きるために～

令和4年度 男女共同参画推進講座 ながいずみセミナーより

誰もが自分らしく、生きやすい世界にするためには、ジェンダー平等が必要だという犬塚教授の話を紹介します。自分らしく充実した人生を送るためのヒントがたくさんありそうです。

静岡県立大学  
国際関係学部

いぬづか きょうた  
犬塚 協太 教授

講師略歴  
学位：社会学修士  
(東京大学・1991年)  
専門：家族社会学・  
ジェンダーの社会学・  
歴史社会学



Q あなたがふだん、「女性 / 男性」といった違いや区別を意識するのはどんなとき？



必要ないもの？ /

「変えることのできるもの？」

これらの

「違い」や「区別」は

必要なもの？ /

「仕方のないもの？」

- ☑ 世の中には[男][女]以外にも色々な性のあり方がある。
- ☑ 男と女の違いは生まれながらの本質的なものではなく、社会や文化の影響で作られる。
- ☑ 恋愛は男女間だけでなく、色々な形、関係の中でもあり得る。
- ☑ 男も女も仕事も家庭も「ジェンダー」からみんなもっと自由になれる。

「男女共同参画」  
「ジェンダー平等」  
の実現をめざす立場です。

- ☑ 世の中には[男]と[女]の2種類しかいない。
- ☑ 男と女には持って生まれた本質的な違い(特性)がある。
- ☑ 恋愛するのは男女の間でだけである。
- ☑ 男は仕事、女は家庭など、性別で役割分業がある。

「ジェンダー不平等」  
を認める立場です。

例えば、  
ニューギニアのある部族は  
男性が子育てし、  
女性が漁に行くそうです。

ジェンダーとは、社会的・文化的に作られた、性別についての役割です。そのためジェンダーは多様であり、私たち自身で変えられるもの、変えてもよいものです。



## ジェンダーの どこが問題？

現代社会で最も大切な価値  
「自由」と「平等」に矛盾し、  
差別や偏見を引き起こします

職業や人生の自由な選択が制限  
され、男女の社会的・経済的格  
差や不平等が生じます。

男性は仕事  
女性は家事・育児

事務職は、女性  
管理職は、男性

「自分の自由な意思で選んだ」  
と思い込まれるところに  
ジェンダーの怖さがあります

家族、職場、地域、メディア、  
さらには学校などでもジェン  
ダー不平等のあり方が、知らな  
い間に植え付けられてしまいま  
す。

男子は理系  
女子は文系



ピンクは女の子  
ブルーは男の子

## どうして、 ジェンダー平等 社会実現が必要？

○国際社会ではジェンダー平等  
がSDGsの目標なのに、日本  
は遅れています。

○働き方の変化やITの普及  
で、男女の区別なく仕事ができ  
るようになってきています。

○少子高齢化・人口減少社会で  
は、女性の労働力が必要とされ  
ています。そのためにもジェン  
ダー平等は必須条件となってい  
てきます。

○コロナ禍により今までの仕事  
や生活は急変しこれまで見ない  
ようにされてきた問題が、浮き  
彫りになってきました。

▼共にリモートワークになって  
も家事・育児・介護など女性の  
負担だけが増加しています。

▼DVや女性の自殺が増加、シ  
ングルマザーなど弱い立場の女  
性がより困窮化しています。

# ジェンダー平等の推進

が解決の決定打！

### ジェンダーギャップ指数 (GGI※)

※男女格差を測る指数。1が完全平等。

順位	国名	GGI値
1	アイスランド	0.908
2	フィンランド	0.860
3	ノルウェー	0.845
⋮	⋮	⋮
15	フランス	0.791
27	アメリカ	0.769
99	韓国	0.689
102	中国	0.682
116	日本	0.650

2022年世界経済フォーラム公表データより (全146か国)

## 目指す

## ジェンダー平等、 男女共同参画社会 のイメージは？

誰もがジェンダーに縛られず自分の個性や能力をフルに  
生かし、自分の生き方は自分で決めて、誰もが共に社会の  
あらゆる領域で活躍できる、生きやすい社会です。

## そのために大切な2つの視点は？



### 多様性の尊重！

ジェンダーに縛られず、みんなが個性と能力を  
お互いに尊重し、認め合う社会



### 誰ひとり取り残さない社会の実現！

ジェンダーが生み出す  
排除や差別を、  
誰ひとり受けないように  
する社会



## 編集後記

ジェンダー平等をめざし、私  
たちが創意・工夫することに  
よって、みんなに優しい世の中  
に変えていけそうです。誰もが  
使えるトイレ（ユニバーサルデ  
ザイン）の増設、誰もが参加で  
きるスポーツの普及、非力な人  
も重い物が持てる機械の導入、  
学校の制服や水着の男女共通化  
など、世の中も変わってきてい  
ます。自分の中にある思い込み  
を、もう一度見直すことが、と  
ても大切だと感じました。誰も  
が生きやすい、平和な社会をつ  
くっていききたいものです。

# 「自分らしく生きる」「相手の自分らしさを認める」

そんな生き方をしたい時の参考になる本を紹介します



## 女の子だから、男の子だからをなくす本



子どもにもわかりやすい挿し絵がたくさんある本です。世の中を性別で分けて考えることから子どもたちの自由を守るために、出版されました。

ジェンダーにとらわれない考え方は、素敵な人になりたい子どもにも、素敵な人を育てたい大人にも、とても参考になります。

○ユン ウンジュ:文 ○イ ヘジョン:絵  
○すんみ:訳 ○エトセトラブックス (2021年)

## なぜ妻は「手伝う」と怒るのか 妻と夫の溝を埋める54のヒント



パートナーと一緒に楽しく上手に暮らしたいというときのヒントが、具体的にいっぱい書かれています。

家事の分担をどう考えて実践していけばお互い幸せに平穏に暮らしていけるのか、若い方たちにも熟年の方たちにもおすすめです。

○佐光紀子 著 ○平凡社 (2021年)

## あいつゲイだって アウティングはなぜ問題なのか？



アウティングとは本人の性のあり方を同意なく第三者に暴露してしまうことです。この本は実際に起きたアウティング事件についての裁判の経過を書きながら、性的マイノリティを取り巻く問題や差別について詳しく述べられています。

思ったよりもとても多くの問題があることが分かり、自分の視野を多少なりとも広げることができた本でした。男女共同参画について関心のある方どなたにもおすすめです。

○松岡宗嗣 著 ○柏書房 (2021年)

## 私、定時に帰ります。[3] ライジング



入社以来、必ず定時に帰ると心に決めて、非難を受けても実行してきた会社員の主人公東山結衣が、管理職になった時、どうしても残業したい若手社員たちの真の理由を知り、給料アップを目指して会社側と戦うことになる痛快な話です。

社会のトップを走るIT企業とは言え、そこにはまだ古き時代の企業体質もあり、これからの働き方を問う小説です。どなたでも楽しめる本です。

○朱野帰子 著 ○新潮社 (2021年)

## 他にもおすすめしたい本

### おふたりさま夫婦、老活はじめました。～どうなる!? 私たちの老後～

○堀田あきお&かよ 著 ○ぶんか社 (2021年)

### 男の子になりたかった女の子になりたかった女の子

○松田青子 著 ○中央公論新社 (2021年)

### 総理の夫—First Gentleman

○原田マハ 著 ○実業之日本社 (2013年)

※ここで紹介した本は町民図書館で借りることができます。

## 咲くっと編集委員を募集します

長泉町女と男の情報紙「咲くっと」では、男女共同参画に関する記事を制作してくださる方を募集しています。文章を書くこと、写真を撮ること、紙面のレイアウトなど「咲くっと」の紙面づくりに参加してみませんか。編集委員はみんな素人です。ぜひあなたのアイデアを貸してください。

ご興味がある方は、生涯学習課まで電話またはEメールにてお知らせください。



取材の様子